

“セキュリティ”関連機器・システム

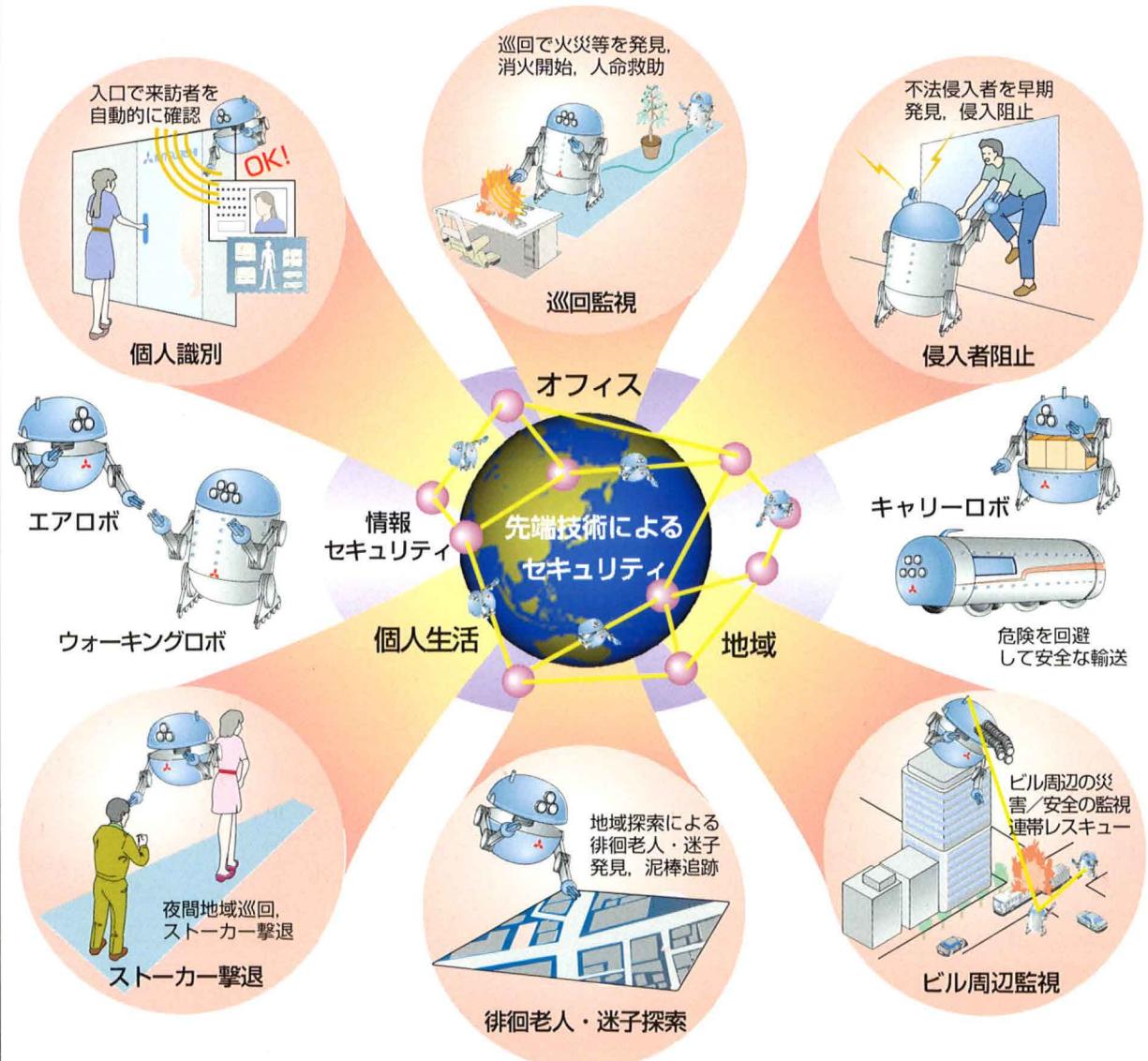
ビジョン21セキュリティの将来像

来るべき21世紀は、ボーダレス化による海外進出者の増加及び国内への他民族の流入に基づく発展と、情報ネットワークがつなぐ活発な個人活動とが織り成す、希望と不安が錯そう(綜)する高齢化社会になることが予想されます。

三菱電機は、これまで培ってきた暗号技術及び防災やビル監視などの経験を一步進めて、“個人の時代”と言われる21世紀に、あなたの文化とライフスタイルを大切にする安全・安心を提供いたします。例えば、世界最強の暗号技術MISTYと認識技術により、セキュアな情報ネットワークを実現します。また、多種類の高感度センサを持ち、365日疲れを知らない安全・誠実ロボットが、様々な生活の場での安全を確保することにより皆様の不安を解消し、人に優しいコミュニケーションによる快適な環境を提供いたします。

オフィス環境においては個人識別、巡回・救出、侵入者阻止による支援を、また移動中を含む地域環境においては安全輸送、ビル周辺監視、連携レスキュー、個人生活の場においては、はいかい(徘徊)老人・迷子探索、ストーカー撃退による支援により、三菱電機は皆様のお役に立ちたいと考えております。

未来のオフィス・地域・個人生活を守るセキュリティロボ



指紋照合装置を用いた出入管理システム

入退室管理、面会者受付、遠隔施開錠等の用途に向けて、人間の生体的特徴である指紋及び顔の照合を組み合わせることにより、個人を確実に識別し、複数のドアの通行を統合管理するパソコンベースの出入管理システムを開発した。

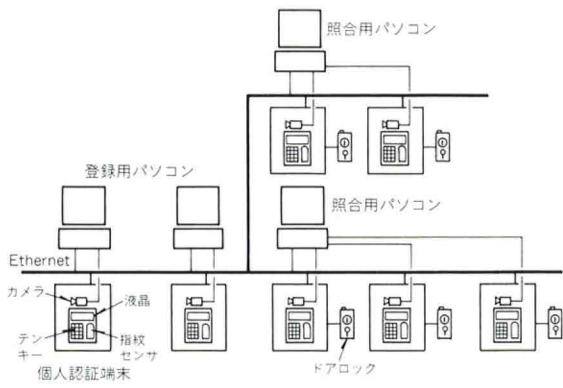
このシステムの特長は次のとおりである。

(1) 個人認証が確実

指紋照合の結果と顔画像のダブルチェックで個人を確実に認証できる。

(2) 汎用性・拡張性が高い

個人認証端末はEthernetインターフェースとディジタル入出力を内蔵しており、1台のパソコンで複数の個人



▲システム構成例

認証端末とドアロックを制御できる。

(3) 信頼性が高い

- データベースの二重化を実現
- 1台のパソコンがダウンしたときでも、別のパソコンが指紋照合処理を代替するスイッチオーバー機能を実現

システム構成例

複数のパソコンと個人認証端末がネットワーク接続されたシステム構成で、カメラの画像は多入力切換え可能なビデオキャプチャボードによってパソコンに取り込まれる。

システムの外観

パソコン(左)と個人認証端末(右)を示す。個人認証端末は指紋センサ、カメラ、テンキー、液晶で構成され、Ethernet I/Fとドアロック制御用のディジタル入出力機能を内蔵している。



▲システム外観

用途別指紋照合装置

1996年1月に発売したスタンドアロンタイプの指紋照合装置“FPR-200SP”をベースに、以下の機種をシリーズ化開発し、市場に投入した。

(1) 出入管理用として、1扉用の上記装置に加え、4扉用には指紋データを複数端末で共用できる“FPR-CS”を開発し、また256扉用には、セキュリティシステム“MELSAFETY-C”によってシステム構築を可能とし、指紋データのセンター登録を実現した。

(2) 液晶表示とタッチパネルによって操作性を向上し、出退勤管理等のデータ管理用に対応した“FPR-HG”を開発した。

(3) パソコンとのインターフェースを備え、ユーザー認証等の用途に対応した卓上タイプの“FPR-DT”を開発した。

以下に、このシリーズの適用例として、国立大学(中部地区)納めの指紋判別式出入管理システムを紹介する。

学科校舎へ入場する約1,000人の学生・職員と校舎内事務管理室に入室する特定職員の通行管理を行うシステムで、FPR-CSをベースに、指紋登録数を3,000指に拡張するとともに、登録端末としては操作性の良いFPR-HGを使用し、多人数の指紋登録を迅速に処理できるようにした。



▲液晶表示とタッチパネルを備えたFPR-HG